

株式会社大創産業における製品安全対策への取組

株式会社大創産業
グローバル社長室
グローバル品質管理部
2026/1/22



-
1. 業界初の品質管理部による徹底した安全対策
 2. 海外取引先の管理強化
 3. 安全知識の普及活動

1. 業界初の品質管理部による徹底した安全対策

1972年創業 催事業態からスタート 1991年より常設店舗チェーン展開

1972.3

大創産業の原点



『お客さまが喜んでくれる良い商品をやりたい』『いつか年商1億円の「大きな会社を「創」りたい』創業者矢野博丈が、会社の草創期に口にした言葉です。それから半世紀を経た今、ダイソーの歴史とDNAを振り返ります。

1987

常設店「100円SHOPダイソー」本格展開へ



商品を天井まで陳列し、お客様を圧倒した

1991

直営1号店の「高松店」が開店、チェーン展開の起点に



■ 店舗数と売上の推移

(2019年3月現在)

売上高(億円)



100円SHOPは「飽きとの戦い」
年間約15,000sku商品開発
品質管理・製品安全は仕入先頼り
2001年から海外展開も開始
26の国と地域に出店

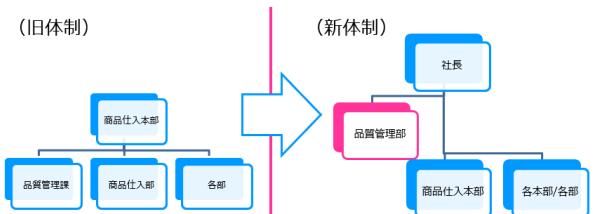
↓

2015年入社 現在の2代目社長
「この業界は品質で潰れる」
2018年 2代目社長就任と同時に
自社で品質管理・安全確認を行う
「業界初の品質管理部設立」



1. 業界初の品質管理部による徹底した安全対策

①社長直下の組織として「グローバル品質管理部」を発足し、合格しない限り商品化を認めない仕組みを構築



②業界初となる「品質管理基本方針」および「商品品質基準書」を策定し、85ジャンルの特性に合わせた基準を明確化



③企画から販売まで計3回の品質確認フロー（デザイン原稿・生産前・出荷前）を徹底
※化粧・電気はより詳細に確認



④蛍光X線分析装置等を用いた材質検査を実施し、強度不足や事故を未然に防ぐ
「サイレントチェンジ」撲滅への挑戦



⑤「店舗抜取検品」実施

2. 海外取引先の管理強化

①製品安全の基本として、まずは最終加工工場をおさえる⇒**CSR工場監査の実施**

- ・正しい工場情報の取得
 - ・勝手な工場変更の防止
 - ・商品の問題発生時の迅速な対応

②全サプライチェーン情報の開示をルール化

現在、当社が直接取引している工場から品質工場監査を必須として、徐々に仕入先管理工場にも委託監査を拡大していく予定。

③中国子会社管轄工場「出荷前立会検品」実施

④製造管理マニュアルの展開・指導

【機密】 Strictly Confidential

【商物混入対策】
針混入対策マニュアル
株式会社 大創産業 品質管理部
発行日 2019年06月01日
最終日 2019年06月01日

【編集】 Strictly Confidential

【機密】 Strictly Confidential

[機器] Strictly Combines

DAISO

品質工場監査マニュアル
(draft版)

株式会社 大創産業
グローバル品質管理部

発行日：2028年04月01日
表紙日：-

安全に関する情報の提供・発信

●公式インスタグラムでの製品安全についての情報発信

お客様に製品を安全にご使用いただくため、注意喚起を目的とした動画を配信

⇒製品安全に関する情報がお客様の目に触れる機会を増やすことを目的に、この取組を開始

(フォロワー数 DAISO : 200万人、Standard Products : 40万人、THREEPPY : 31万人)

例②：スライサー（視聴数：54万）

…安全に使用するための便利グッズも合わせて紹介（指を守る安全グリップ、滑り止めマット）
安全グリップの販売は約2倍に。（4万個/月）



3. 【視点2】 製品を安全に使用してもらうための取組

安全に関する情報の提供・発信

● ショートドラマの公開

⇒コミュニティサイト「DAISOの輪」からもアクセス可能

製品安全活動の一環として注意喚起のショートドラマを作成

NITE様に実際の火災動画を提供いただき、
商品の誤使用による危険性を、
よりリアルにお伝えする目的

